

夢は遙か宇宙へ・日新館天文台跡と小惑星探査機はやぶさ2

# ふくしま 星と宇宙の展覧会

## 入場無料

日時 7月22日(土) 23日(日)

場所 福島県立博物館 エントランスホール&講堂  
福島県会津若松市城東町1-25

主催：日新館天文台跡保護推進プロジェクト

私たちは日新館天文台跡の天文遺産登録を応援しています

平成29年度公益信託うつくしま基金支援事業

### 無料プラネタリウム

7月22・23日



Mobile Planetarium  
移動式プラネタリウム上映会



★中学生以下限定 各回先着30名まで

7月22日(土) ①12:00 ②16:30  
7月23日(日) ① 9:30 ②12:00 ③16:00

### 基調講演



国立天文台副台長  
渡部潤一



「日新館天文台跡と天文遺産」  
～世界に誇る会津の史跡～

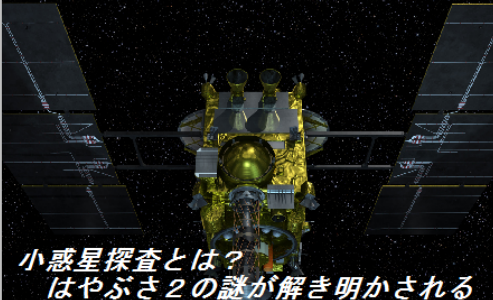
7月22日(土) 13:30～

1960年会津若松市出身。天文学者。  
自然科学研究機構国立天文台副台長・教授。  
総合研究大学院大学教授。東京大学卒。理学博士(東京大学)

### 短編映画上映会 解説付

7月23日(日) 10:00～

HAYABUSA 2  
RETURN TO THE UNIVERSE



小惑星探査とは?  
はやぶさ2の謎が解き明かされる

さあ、飛び立て・・・はやぶさ



解説

会津大学准教授

寺園淳也

### 特別講演



西はりま天文台天文科学専門員  
鳴沢真也



「正しい宇宙人の探し方」  
～やさしい地球外生命体探査の話～

7月23日(日) 14:00～

1965年長野県出身。福島大学卒。福島大学院修了。  
2009年国内同時SETI「さざんか計画」プロジェクトリーダー。  
2010年世界合同SETI「ドロシー計画」プロジェクトリーダー。

### 研究発表

7月22日(土) 15:00～

けいひょうぎ  
「圭表儀で太陽の南中高度を測る」

圭表儀は古くから使われていた太陽の南中高度を測る観測機器です。日新館天文台でも磨の検証のために使われていました。丘中学校科学部では、この圭表儀を自作して影の長さや南中高度の観測を続け、その結果から、江戸時代の観測の様子を明らかにしようと研究しています。

長野県塩尻市立 丘中学校科学部 の皆さん

2012年の金環日食で全校生徒の観測結果から限界線を求めた。それ以来、太陽の動きの観測を継続している。

平成28年度 長野県学生科学賞 県知事賞受賞



### その他天文関連展示物多数

後援：会津若松市教育委員会/公立大学法人会津大学/福島県/福島県立博物館

協賛：会津そらの会/会津商工信用組合/會津藩校日新館/みとみ学園/

(株) リオン・ドール コーポレーション

協力：会津天文同好会/喜多方星好き会/田村市星の村天文台/デザイン事務所Alpha plus/サウンドミューズ&musecafe/スタジオスターリングエフ

【お問合せ】 電子メール：k-usuki@blue.plala.or.jp 電話：090-2958-3120 (代表 ウスキ)